

研究責任者名 Name	伊藤 悦子 ITOU Etsuko	所属機関 Affiliation	高エネルギー加速器研究機構 KEK
受理番号 Proposal No.	大型-12-16	研究課題名 Program title	四次元非可換ゲージ理論における相互作用する共形場の理論の探究

研究を終了しましたので、下記の通り報告します。

成果の概要

Abstract

(和文)

研究計画では、arXiv: 1109. 5806 の letter 論文で発表した、SU(3) Nf=12 ゲージ理論の固定点で Lattice parameter を用い、固定点での臨界指数を数値計算で導出する予定であった。しかし、運用開始 1 ヶ月も立たない時に一部の共同研究者が相談もなく running coupling のさらなるデータの update をし始め、固定点の存在についての結論にずれが生じたため、この計画は放棄せざるを得なかった。

一部共同研究者は、不十分な updatation をしただけで、共同研究が解散したため、その後本運用期間中に、やり残した updatation を行った。

結果については現在取りまとめ中である。

(英文)

In our original plan, we would study the critical exponent at the IR fixed point for SU(3) Nf=12 gauge theory which was reported in our letter paper arXiv:1109.5806.

However, a part of collaborators suddenly started the updatation of the data for the running coupling constant study, and then information of the IR fixed point was changed.

We had to give up our original plan to study the critical exponent.

The collaboration was reset after the updatation which was not unsatisfied, then we continued the updatation by using remained budgets.

The results with the updated data will release in future.

研究成果を公開しているホームページアドレス

研究成果の 公表	口頭研究発表 件数	査読付きの学術論文数	プロシーディング 論文数	その他 (投稿中を含む)
	2	0	0	0

成果の公表リスト（それぞれの枠に番号をつけて記入願います。）

口頭研究発表		
1. 日本物理学会 第 67 回年次大会にて 「Wilson-flow を用いた格子上の繰り込みスキームの定義とシミュレーション」 発表者：永谷弘之		
2. 日本物理学会 第 67 回年次大会にて 「SU(3) Nf=12 理論の赤外固定点における臨界指数について」 発表者：伊藤悦子		
査読付きの学術論文(雑誌名等には 巻、頁、発表年を記載)		
1	著者名	
	タイトル	
	雑誌名等	
	URL	
2	著者名	
	タイトル	
	雑誌名等	
	URL	
3	著者名	
	タイトル	
	雑誌名等	
	URL	
プロシーディング論文(雑誌名等には 巻、頁、発表年を記載)		
1.	著者名	
	タイトル	
	雑誌名等	
	URL	
2.	著者名	
	タイトル	
	雑誌名等	
	URL	
3.	著者名	
	タイトル	
	雑誌名等	
	URL	
その他（学位論文、紀要、投稿中の論文を含む）（URL を記載）		
1. 2.		
特記（本研究に関係した、新聞記事・著作、受賞など）		
1. 2.		